岩盤ボーリング柱状図

調査名	鹿谷地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量設計調査業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

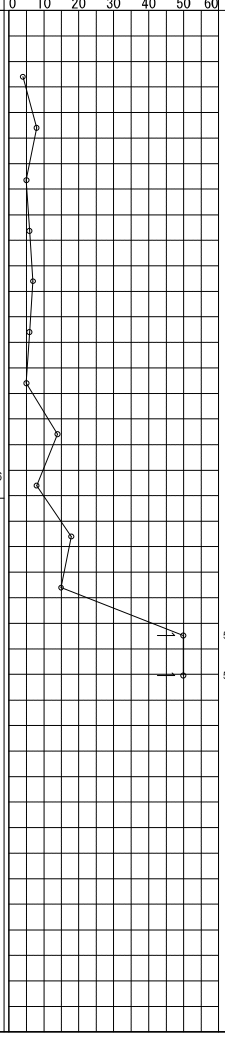
ボーリング名	BorNo.3	調査位置	広島県三次市吉舎町清綱	北緯	34° 42′ 40.3196″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年12月14日～ 令和3年12月16日	東経	132° 59′ 37.2736″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	227.83m	角度	180°（上）〜 0°（下）、90	方向	北 0°、90°東、180°南、270°西
総削孔長	15.00m	地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機DO エンジン：ヤンマーディゼルNFD13-EK ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土混り砂礫	茶褐灰								・上部に植物根を含む ・GL-0.80～2.00m間は礫を多く含む ・礫は径2～40mmの硬質な亜角礫である ・礫は不規則に分布する ・全体的に粘土分を含有する ・砂は細砂である ・GL-9.70m付近、含水やや多い。	12/16 9.55
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10	217.83	10.00		風化安山岩	暗青灰	w4	h2	D	Ⅳ	c	D	2[0](100)	・岩片状～角礫状コアとして採取される ・全体的に風化が進行している ・岩片はハンマーで叩くとボロボロに砕ける	
11												1[0](100)		
12	215.83	12.00		安山岩		w2	h1	B	Ⅲ	b	CL	8[0](100)	・岩片は硬質である ・全体的に亀裂が発達している ・亀裂面は褐色となる ・GL-14.00～15.00m間は高角度の亀裂が認められる	
13												11[11](100)		
14												10[10](100)		
15	212.83	15.00												
16														
17														
18														
19														
20														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15 / 1.45	4 / 300		
8	2.15 / 2.45	8 / 300		
5	3.15 / 3.50	5 / 350		
6	4.15 / 4.48	6 / 330		
7	5.15 / 5.45	7 / 300		
6	6.15 / 6.45	6 / 300		
5	7.15 / 7.45	5 / 300		
14	8.15 / 8.45	14 / 300		
8	9.15 / 9.45	8 / 300		
18	10.15 / 10.45	18 / 300		
15	11.15 / 11.45	15 / 300		
50以上	12.15 / 12.33	50 / 180	180	
50以上	13.00 / 13.05	50 / 50	50	

深度－N値図



原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		12/14	100	86／ケーシング	／MC	50	80	0	W30	0
		12/15	150		／DI	80	120	1	W35	5
		12/16	120	66	／DI	120	150	1	W310	10